

令和7年度 第5回学校運営協議会 議事録

第5回：令和7年度 学校運営協議会（要点議事録）	
日時：令和8年 2月27日（金曜日） 14：30～15：30	
場所：西東京市立田無第二中学校 会議室	
出席者：折田 和文（会長）、真鍋 五十鈴委員（副会長）、吾妻 隆一委員、 勇 昇一委員、本間 孝子委員、篠 十美江委員、菅野 浩一郎委員、 三沢 英俊委員、南川 広幸委員 欠席者：山崎 英昭委員 委員10名のうち9名出席により、本会議は成立	
次第1 事務局より	司会：副校長
1 校長挨拶	
・ 3年生は3月20日に卒業予定。	
・ 1年間、委員および地域の支援に感謝。	
・ 各学年の成長の様子について報告。	
1年生 ：スキー教室での協力的な態度や主体的な取り組み。	
2年生 ：校外学習において、トラブル発生時も班ごとに柔軟に対応。	
3年生 ：受験を通じた成長。結果に関わらず経験が糧となる。	
・ 学校評価の集計結果と課題について、本日各担当より説明予定。	
次第2 議題	司会：会長
(1) 第四回協議会 議事内容について	
・ 議事録の内容確認および承認	
(2) 学校評価について	
①ICT 機器の活用（学校内）	
・ タブレット更新により活用度が向上。	
・ 西東京市導入の「未来シード」活用。	
・ 生徒の主体的活用が増加。	
・ 課題：効果的活用方法の教員間共有。	
②ICT 機器の活用（家庭内）	
・ 活用率は増加傾向。	

- ・家庭学習支援ツール（未来シード、ドリル等）活用促進。

意見・質疑

- ・家庭の通信環境確認。
- ・教員の負担増への懸念。
- ・前期・後期比較資料の視認性について改善要望。

③個別最適な学び

- ・生徒の「自分に合った学習方法の工夫」は前期 68%→後期 86%に向上。
- ・保護者評価も微増。
- ・教員側も工夫を実施。
- ・アプリ・デジタル教材活用継続予定。

④教育相談

- ・生徒評価は 86%で横ばい。
- ・保護者評価は微増。
- ・教員側自己評価は向上。
- ・相談週間実施、SSW（スクールソーシャルワーカー）との連携強化。
- ・「どこにもつながっていない生徒ゼロ」を目標。

質疑

- ・SSW 来校頻度（週 1 回程度）。
- ・アンケート結果を踏まえた個別対応の方法。

⑤思いやり

- ・概ね肯定的評価。
- ・異学年交流や対話型道徳を推進。

⑥良好な人間関係

- ・生徒・教員評価は高い。
- ・保護者との認識差あり。
- ・周知不足が課題。

⑦生徒主体の活動

- ・生徒
- ・教員評価は高い。
- 切。・来年度予定（案）配布。

意見

- ・保護者評価が全体的に低い点について課題認識。
- ・周知不足と実態改善の両面が必要。

⑩健康・体力

- ・授業内での基礎運動
- ・柔軟・筋力トレーニング実施。
- ・技能別グループ分け指導。
- ・水泳は暑さ指数等により実施制限あり。

⑪業務改善、ライフワークバランス

- ・整理整頓の徹底。・動線改善検討。
- ・生徒が入りやすい職員室環境づくりについて意見あり。

⑫地域と協働する力、自ら学ぶ意欲、探究学習、協働的な学び、キャリア教育、自己実現

- ・探究学習、協働学習ともに約8～9割が肯定的。
- ・キャリア教育についても概ね高評価。・将来像の明確さには個人差あり。

⑬学校評価の集計方法

- ・各委員が1～5段階評価を記入。
- ・3月6日（金）締切。
- ・平均値を協議会評価とする。

意見

- ・保護者評価が低い傾向への対応が必要。
- ・教員の働き方評価（3.3）について課題認識。

（3）各委員より一言

- ・同窓会より：70周年記念事業として寄贈予定品についての報告。
- ・委員の異動・交代の可能性報告。
- ・地域・家庭・学校の三位一体の重要性確認。

(4) 事務連絡

- ・卒業式：3月5日までに出席連絡。
- ・ペンキ塗りボランティア：3月11日締切。・来年度予定（案）配布。

閉会

- ・時間超過についてお詫び。
- ・1年間の協力への感謝を述べ閉会。